

第6学年 図画工作科授業実践事例

1. 活動の指針（活動を通して育てたい力）

① つくる喜び

表したい思いに合ったつくり方や表し方を進んで試し、つくったりつくり直したりしながら、自分の思いを形や色でつくりだしていく喜びを味わうことを大切にしていく。



2. 題材名

「段ボールアラカルト」

＊ ＊ エッジ オブ ザ 段ボール ＊ ＊ ～4時間扱い～（工作に表す）

3. 活動の指針と題材のかかわり

この時期の児童は、社会的な情報を活用したり、直接体験していないことに思いを巡らせたりすることができるようになる。また、造形活動において、一人一人の特性や傾向がはっきりしてきて、その子らしい主題で表そうとしたり、手ごたえのある材料や用具をつかおうとしたりするような特徴がある。

図画工作科の活動においても、手などの働きも巧みさを増し、扱える材料や用具の範囲が広がってくる。一人一人の児童の特性が目立つようになり、多様な試みが見られるようになるが、同時に友人のアイデアを利用したり、表し方を紹介し合ったりするなど、周りとの関わりも活発になる。

表現する材料としては、低学年の時に取り扱った身近材の段ボールを用いるが、今回は切ったり、分解したり、組み合わせたりできる良さを引き出すために、用いることにした。同時に材料などを自由に操作することから発想してつくる活動へ広げていきたい。

段ボールを切断したり、組み立てたりするなかで新しい形と出会い、次々と変化させたり、動かしたりするなどの発想が連続する過程を育みたい。そのようにしながら、児童自身が思いもかけないような形を生み出す活動が続くことになるだろう。

本題材では、材料用具の取り扱いに注意を要する。特に段ボールを切断する際に小刀（少し大きなカッターを含む）を用いるため、用具の特性や危険な使い方を示し、安全指導を徹底させることで、より表現の幅が広がること、鋭利なカッターだから表現できるシャープな美しさ、を体感させたいので本題材を設定した。

[共通事項]

ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。

イ 形や色などの造形的な特徴をもとに、自分のイメージをもつこと。

4. テーマにせまるための具体的手だて

(1) 視点1「思いをふくらませる」

○段ボールをいろいろな角度で切ると切り口の模様が違う。この模様の違いが新しい発見となり従来感じなかった感動が感じられる。

○自分が好きな段ボールの角度からイメージを広げ、まず平面上のデザインを考える。自分にとって面白い、心地よい、楽しい、格好いい等の平面をイメージしていけるようにする。

○手や体全体を使いながら材料を切ったり並べたりするときに、表れるかたちから自分の思いや願いが込められ、詰まったものになるようなかたちを発見する。

(2) 視点2「思いをかたちにする」

- 今回は、基本素材を段ボールに限定し、段ボールの多様切り口の変化を発見し、自分のイメージに近づける。
- 段ボールの強さ、弱さ、切りやすさ、切り口の面白さ、切り口の美しさなどいくつかヒントコーナーに技術的なサンプルを用意して参考にさせる。
- 必要に応じて、接着の仕方やカッターナイフの使い方などを個々に指導し、活動への不安をなくすように配慮する。
- 組み合わせや組み立てをしていく時に、切ったり、つなげたり、重ねたり、貼り合わせたりしながら、子ども達は自分がイメージしたかたちにあらわそうと試行錯誤しながら取り組む。このような取り組みの中でまた新たなおもいが生まれ、新しい技法が生まれると考える。
- 途中鑑賞を設け、友達の作品を見たり自分の作品を紹介したりすることにより、自分の思いをより鮮明にし、互いの思いを知ったり、さらに自分の思いを膨らませることができるようにする。

5. 題材のねらい

- 段ボールを色々に切った切り口を組み合わせることができる形、空間のよさを味わい自分なりの方法で表現することができる。
- 自分のイメージに応じて組み合わせ方を工夫し、立体・半立体に表すことができる。

6. 題材の評価規準（重観点…◎）

	造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
評価規準	○段ボールの切り口から豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かし、活動を楽しんでいる。	◎段ボールの切り口を組み合わせながら、そこに広がる世界を想像し、自分のイメージを膨らませることができる。	○ダンボールを切ったり、はったり、組み合わせたりして、自分の思いや考えをあらわすことができる。	○自分や友達の作品を見て、切り口を組み合わせた良さを伝え合い、互いの工夫を感じ合うことができる。

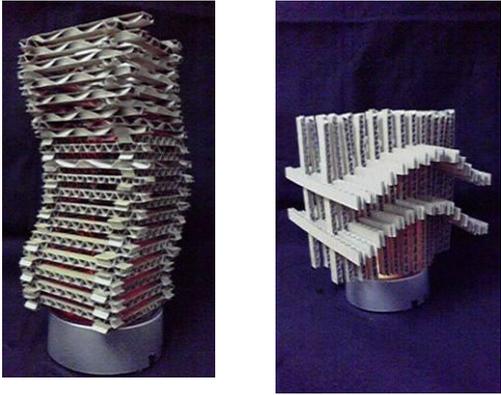
7. 準備

- 《児童》筆記用具・はさみ・カッターナイフ・段ボール・木工ボンド・のり 等
 《教師》段ボールカッター・カッターナイフ（大・小）・カッター板・両面テープ・木工ボンドのり・接着剤 等

8. 指導と評価の計画（4時間扱い）

時間	○活動内容 ☆★予想される子どもの姿	◆教師の働きかけ [評価規準] …評価方法
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> 「エッジ オブ ザ 段ボール」誕生！ お気に入りの切り口をイメージしよう！ </div>	
一次	○段ボールをやぶることで「切り口」に変化が生じることを知る。	◆今までも身近な工作素材であったが、改めてその特徴を確認させる。
45分	○段ボールの特徴を手と体全体を使って味わおう。 ☆ワクワクしながら段ボールを手にしてちぎり始める。	◆いろいろなイメージが湧くようにまず自分の手を使ってできることを考える。 ◆手の感覚でやりやすいこと、やりにくいことをつかむ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・方向によっては、ちぎりやすい方向とちぎりにくい方向があるね ・丸めやすい方向がある。 ・丸めたら、ずいぶん堅くなった。 <p>☆鮮やかな切り口の段ボールを見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうやってきたのかな？ <p>☆段ボールを切る道具を見せ、安全な取り扱いを教える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみでも自由に切れるね。 ・丸く切るときは、はさみが便利だ。 ・段ボールカッターもあるけど力があるな。 ・大きいカッターだと、筋に合わせると切りやすいぞ。 ・表面の紙をはがすと波打っている。 <p>★どんなふうにしたらいいのかわからなく、戸惑っている。</p> <p>○段ボールを敷き詰めると面白い表現ができることを知り、自分の想像する、あったらいいな～というデザインを想像し、並べたり、積み上げたりする。</p> <p>★あったらいいな～というデザインを想像できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆自分のイメージに合う段ボールを加工・切断するのに適した道具を見つける。 ◆友達と一緒に活動することを促し、やり方を学んだり、見つけたりさせる。 <p>【関】…活動の様子、つぶやき、発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「自分の好きな敷き詰め」を中心に、組み合わせると面白い表現ができることを伝え繰り返し、試行錯誤して並べたり、積み上げるように声をかける。 ◆組み合わせの参考をヒントコーナーで確認し、面白さや楽しさを一緒に話す。 <p>【発想・構想】…イメージデッサン</p>
<p>二次</p> <p>90分</p>	<div data-bbox="343 1294 1168 1368" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 段ボールを使って新しい表現にチャレンジしよう！ (平面または立体編) </div> <p>○あったらいいな～というデザインを想像し、並べたり、積み上げたりしながら製作活動に入る。</p>  <p>☆アイデアをもとにイメージを膨らませながら生き生きと活動を始める。</p> <p>段ボールを加工し、表面の切り口が目に見えるように組み立てに工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンボールを切る角度を変えるといろいろな模様ができる面白い。 ・はじめは平面的に並べてみよう。 ・向きを変えてみると面白い模様になる。 ・タイルのように並べるのもいいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆カットした段ボールから楽しくなるようなデザイン、敷き詰め、組み立て等を考えさせる。  <ul style="list-style-type: none"> ◆イメージを大切にしながら、何を最初にやったらいいのかを考えさせながら計画的に取り組ませる。 ◆段ボールの特徴がよく表れるように、本題材では、切り口が目立つように、切った後の模様の良さを考えて製作をすすめる。

<p>★つくりたいイメージはあるが、何から初めていいのか分からない。</p> <p>☆自分のイメージ通りに活動が進み、新しい技法を取り入れながら、工夫して活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そうだこの体の表面の紙を切り取り、めくってみよう。 ・細い棒状の段ボールをつなげよう。 ・段ボールの切り口を少し斜めにしよう。 	<p>◆横に並べたり、手に積み上げたりしてもいいことを知らせ、よりよい手順をアドバイスし、一緒に加工・製作手順を考える。</p> <p>◆発想を大切にしながら、イメージ通りにできるように一緒に方法を考えたり、表現が変わったりしてもよいことなどをしらせる。</p>   <p>【関】…会話、表情 【技】…活動の様子、作品</p>
<p>三 次 45 分</p> <div data-bbox="427 1081 1082 1153" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>お互いの作品を紹介し合って、 思いを伝え合おう！感じあおう</p> </div> <p>○自分の思いを込めた作品を紹介したり、友達の作品の紹介を聞いたりしてお互いの思いを知る。</p> <p>☆思い通りに作品が仕上がり、自信を持って紹介している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は敷き詰めた模様を2種類逆にしてみました。 ・積み重ねて曲げてみました。 <p>★自分の作品に自信が持てずに、とまどっている。</p>	<p>◆それぞれの作品には願いやおもいがつまっていることを感じられるように紹介したり聞いたりできるように指導する。</p> <p>◆自分の作品のよさに気づかせ、具体的にどこがいいのか知らせ自信を持たせる。必要に応じて補足する。</p> <p>【鑑】…発表、鑑賞カード</p>